



自由主義の落とし子たち

令和7年8月3日

黒田インターナショナル コンサルティング LLC

黒田 毅

権利を標榜し、責任を放棄する。これらが異常な自由という現実を生きる自由主義の落とし子たちである。

責任が唯一要求されるのであり、それは必ずしも権利ではない。それが正しい世界のあり方なのである。

これら自由主義の落とし子たちは、ラングレーの洗脳を生きる彼らの兵隊なのである。これらが今日の世界における正義や理想を形成することは、ラングレーの努力の結果である。

これら現実には部分的存在を完全に熱狂させる。悪という部族である。

しかし正しい世界は責任の履行において唯一可能なのである。これらが正しい社会性の育成であり、教育における正しい理解なのである。

世界の枠組みはその成熟性と共に、この責任を受け継ぐことにおいて正しい世界の創造を得るものである。

これらが良識と良心における正しい世界の合意の形成であり、対話という現実において世界における共有を与えるものである。

また対話は、世界の通念を与えるものであり、それら理解の深耕は、学術性の進歩とともに、新しい未来の実現を可能とできるのである。

これらは新たな世界の融和を与えるものであり、対話という手段とともに、対立から、新たな世界の創造を提案できるものである。

これらは未来という崇高さは、人類がその歴史における理想を実現するものであり、政治は自己においてそれを代弁する必要性を有するのである。